

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年5月30日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15130
政策名 (章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当課	生涯学習部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 生涯学習の推進		生涯学習課
施策名	生涯学習関連施設の整備	課長名	川野 佐一郎

1 施策の概要・目的

地域における生涯学習を推進するため、生涯学習関連施設の整備・充実に努める。

2 施策の現状

市民の多様な学習活動に応える一環として、南文化センターの廃止に伴い、東林公民館の整備を行いました。更に、大野南公民館の増床や学校の余裕教室等や学校の開放などを検討しています。
また、市民の学習活動に支障を生じさせないように施設整備・補修を実施しているが、施設の老朽化が進み、公民館のほか、市立図書館、博物館の維持補修費用が増大しています。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

564,526 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

916 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **50** 番目です。

(4) 施策に要している人員

1.76 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	【公民館の増築・増床率】 整備済館/計画館×100	市民の多様な学習活動に応えるための公民館の増築・増床の進捗率を図る。	50 % 単位	0 50 100	17	目標年度
			100 % 単位		50%	達成度
指標2	平成14年度修繕対応数(営繕課設計分)/平成14年度修繕希望数(営繕課設計分)×100	平成14年度における修繕希望に対し、緊急性の高いものから処理を行った率を	63 % 単位	0 50 100	22	目標年度
			100 % 単位		63%	達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位		%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

市民の学習ニーズが多様化し高まる中、身近に学習活動を行うことのできる環境づくりが求められています。

6 有効性…期待される効果があがっているか

増築前の東林公民館は、規模の類似した他地域の公民館と比べると、館区人口に対する施設規模が小さかったが、増築により地域住民がより充実した学習活動を行う場として有用に活用されている。また、他の公民館の多くも建設当時から時間が経過しているため、経年劣化が進み、空調機をはじめ、諸設備が故障するケースが増えてきたが、迅速な修繕対応を行ったことで利用者の学習活動に支障を生じさせることはなかった。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

公民館の施設修繕については、各館毎に修繕箇所、規模等様々であるが、その時点で緊急度の高いものから対応し、なるべく低コストで実施するようにしているので費用対効果は高い。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

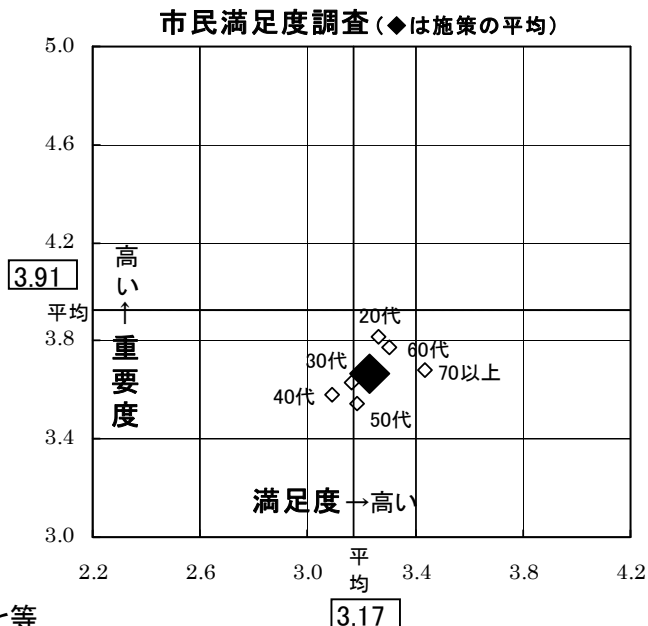
◆この施策の満足度は、3.230で、調査した51施策の中で16番目です。

◆この施策の重要度は、3.666で、調査した51施策の中で41番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.308で、調査した51施策の中で40番目です。

◇年齢別にみると、30歳代～50歳代で満足度及び重要度もやや低くなっていますが、年齢による大きな差はみられません。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

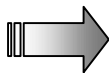


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

今後も年々施設の老朽化が進んでいくので、予算面の対応が課題になる。大野南公民館の増床については、より効果的・効率的な活用がなされるよう目的別の部屋割り等について、利用者のニーズを把握しながら検討していく必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

市民の自主的な学習活動を支援するためには、その需要に見合った生涯学習施設を整備することが一義的には有益ではあるが、財政的な面から現実性に乏しいと考えられる。については、既存施設の維持補修(外壁塗装や空調機の更新等)を進め、市民が安心して利用できる施設の確保を図っていく必要がある。

11 2次評価

説明

<input type="checkbox"/> A	施設の有効活用方策を検討するとともに、利用率の低い施設については統廃合や施設のあり方について検討すること。施設使用料については、受益に応じた適正な利用者負担となるよう努めること。
<input type="checkbox"/> B	
<input checked="" type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

<input type="checkbox"/>	既存の施設について、市民の利用要求に合わせた計画的な改修等を行い、効率的な施設運用が図られるようにすべきである。
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

